

東北放射線医療技術学術大会における 一般演題審査のプログラム審査委員会の取り組み

新潟大学医歯学総合病院 医療技術部 放射線部門 ○金沢 勉 (Tsutomu Kanazawa)
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 坂本 博
福島医科大学附属病院 放射線部 村上 克彦
八戸市立市民病院 医療技術局放射線科 石倉 牧人
山形大学医学部附属病院 放射線部 佐藤 俊光

【はじめに】

東北放射線医療技術学術大会(以下、TCRT)は、日本放射線技術学会東北支部と日本診療放射線技師会東北地域放射線技師会が2011年から共催する東北地方最大の学術大会である。近年のコロナ禍では演題数が減少してきているが、過去には100演題を越す一般研究発表演題が応募されてきている。以前の一般演題の審査は、実行委員会内に都度、組織されたプログラム委員が担務してきていた。しかし、実行委員会は毎年、総入れ替えとなる運用であり、プログラム委員としての引き継ぎはほぼない状態であった。さらには、明確な審査基準を決めておらず、審査は担当県の裁量に任された運用であった。したがって、演題審査については、一定のクオリティを担保しているとはいえず、現実的には応募演題が全て採択されていた。このような背景の中、TCRT2019の企画時より演題審査水準の引き上げと継続的な大会運営の担保を目的に、プログラム審査委員会を立ち上げ、一般演題審査についてはTCRT実行委員会からは独立して対応することとなった。

今回、本年度分も入れた計4回分の演題審査を振り返り、どのような過程で審査が行なわれ採択されているかを公表することで現在の問題点を考察し、併せてプログラム審査委員会の活動の周知を目的とする。

【方法】

プログラム審査委員会の位置付け、委員、業務について内規を作成した。本内規はTCRTの制度を決定する役員会で承認を得ている。また、本委員会で保有する独自の演題審査管理システムを用いて、今年度を含めた4回分の審査について、審査方法、結果を報告し、問題点について提示する。

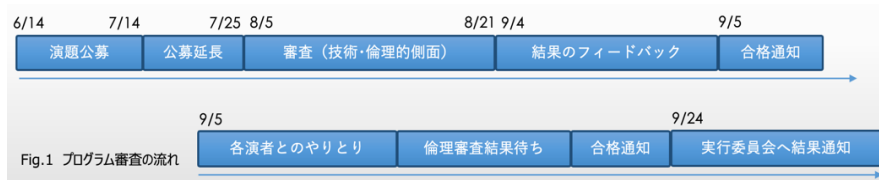
【結果】

1) 組織

プログラム審査委員会は、JSRT東北支部、JART東北地域技師会より各県から1名ずつ推薦がされ計13名で構成される委員会であり実行委員会の下に組織がされていた。任期は1年であり、審査の継続性を担保するために3期継続することを基本として再任を許可していた。現在のところ4年間で1名交代がされていた。

2) 審査方法

TCRT2023大会の実際の審査の流れをfig.1に示す。演題締め切り後、10日間で審査担当者を割り振りし、審査委員による審査期間は約2週間を要した。また、不備があった演題



について、委員長が演題毎に連絡をとり合格通知を出した。この期間に約1ヶ月間を有し、その後大会実行委員会に合格演題を通知した。審査内容は、演題名への商品名の利用、抄録内容、倫理審査、利益相反について審査を行った。なお、1演題について必ず3名以上の委員で審査を行い、倫理審査については更に別の3名以上の委員で審査を行っていた。また倫理審査担当委員は、日本放射線技術学会で行っている、倫理審査相談員育成講習会を全員受講していた。

3) 審査結果

過去4回の審査結果を、table.1に示す。条件付き合格は、審査委員から演者へのアドバイスがあった場合に参考にしてほしいことを付帯条件として加えて合格通知を出している。保留については、演題名への商品名利用、抄録内容の不備、倫理に疑義が生じた演題である。保留演題の詳細をtable.2に示す。1演題で複数項目の不備がある場合があり結果に重複がみられるが、ここ4年間の保留件数に変化はみられなかった。

TCRT	応募演題数	合格	条件付き合格	保留	不採択	備考
2019 (仙台市)	118	69	24	25	0	1演題取下げ
2020 (福島市)	新型コロナウイルス感染症により中止					
2021 (福島市)	73	49	16	8	0	
2022 (新潟市)	86	56	14	15	0	1演題取下げ
2023 (山形市)	92	62	10	19	1	

Table.1 演題審査結果

TCRT	演題名不備	抄録内容不備	倫理疑義	
2019 (仙台市)	5	4	9	3
2020 (福島市)	新型コロナウイルス感染症により中止			
2021 (福島市)	0	2	5	4
2022 (新潟市)	7	4	10	3
2023 (山形市)	6	2	10	5

Table.2 保留に対する演題審査結果

【考察】

プログラム審査委員会内規は、組織化、委員、任期、業務等の5条から成り立ち、施行からすでに4回改訂が行われ、年2回開催されるTCRT役員会で常に検討がされている。また、審査を行うにあたり、演題審査管理システムを用いることで審査の効率化が大きくなされた。2019年の委員会発足と同時にパイロット版がJSRT東北支部により開発されTCRT2021から利用開始の予定であったが、実際の運用と合わずに一部機能の利用から開始し、本格利用はTCRT2022からであった。

審査結果については、審査疑義がなく初回で合格する演題が年々増加しており、演題数に対する保留の割合が減少してきているが、演題名に商品名を利用している演題や抄録での誤字脱字、文章構成の悪いものが一定の割合で認められた。倫理審査については疑義になった実際例として、ボランティアを利用した研究、個人情報を利用した研究、観察者研究、アンケート研究等があり、研究者が倫理審査を必要と認識していないと考えられる認識不足が多かった。研究倫理については、近年非常に重要になってきており、自身の研究デザインを考えた時に、まず倫理審査を必要とするのかどうかを理解し、必ず研究を始める前に倫理申請を行う必要がある。我々が行う研究では「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」¹⁾が国から告示され、また日本放射線技術学会の研究倫理規程ガイドンス²⁾も併せて変更がされてきており遵守する必要がある。日本放射線技術学会の研究倫理規程の一部をfig2に示す。TCRTでも、この考え方を徐々に取り入れきたが、今年度、日本診療放射線技師会が倫理規程の方針を大きく変え、倫理審査委員会の承認を求めようになったことを考え併せると、来年度以降、厳格に倫理規程について運用していかざるを得ないと考えている。

◆ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 ◆ 日本放射線技術学会の研究倫理規程ガイドンス

<p>第3条 研究者としての責務</p> <p>研究者は、すべての人間の基本的権利を認め、適正に学術研究および学会活動を行う。</p> <p>2. 研究者は、あらゆる場合において、<u>研究対象者の生命、健康、プライバシーおよび尊厳を守らなくてはならない。</u></p> <p>3. 研究者は、人間以外の動物も含めたすべての生命の尊厳を認め、環境や未来世代への影響も配慮し、放射線技術学における学術的活動とそれに関連する諸活動にたずさわる。</p> <p>4. 研究者は、自らの研究・診療実践の活動が個人や社会に対して影響のあることを自覚し、自らの活動は不特定多数の個人または社会の利益向上に貢献することを旨とする。</p> <p>5. 研究者は、倫理指針の適用範囲である研究を実施する場合には、個人情報の保護に留意し、<u>研究の対象となる人からインフォームド・コンセントを受ける等、適用される規則等に従い、必要に応じて事前に倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を得なければならない。</u></p>	<p>3. 倫理指針の適用範囲である研究を実施する場合には、<u>設定を開始する前に</u>倫理審査委員会の承認を受けるとともに、研究機関の長の許可を得るなど、倫理指針の規定を遵守して研究を実施しなければならない。</p> <p>なお、本学会で発表する当該研究の倫理審査に関して、倫理審査委員会もしくは事務局において倫理審査不要と判断された場合には、演題審査の過程で倫理審査不要の記録を求められることがあるため、倫理審査不要の裏面、あるいはその旨を伝えてきたメール等を保管しておくこと。</p> <p>4. 本学会で発表されるアンケート調査については、演題審査においてアンケート内容を確認できず、倫理審査要否の判断が難しい研究が多いため、<u>発表者が倫理審査不要であると考える場合であっても、倫理審査委員会もしくはその事務局で倫理審査不要の承認を受けておく必要がある。</u>倫理審査不要と判断された場合には、前項に従って、その記録を保管しておくこと。なお、アンケート調査以外の研究においても、倫理指針適用性の判断が難しい場合においては同様である。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Fig.2 生命倫理規程

【まとめ】

プログラム審査委員会は独立した組織であり公平性が担保されていることが確認できた。また委員会を発足したことで、演題の内容についてはレベルアップがされてきている。ただし、倫理規定については、まだまだ浸透がされていないと考え、来年度以降、倫理審査で演題登録却下とならないように研究者には注意頂きたい。

【参考文献・図書】

- 1) 人を対象とする生命科学・医学研究に関する倫理指針 ガイドンス. 文部科学省・厚生労働省. 経済産業省
- 2) 研究倫理規程ガイドンス Ver. 10.1. 日本放射線技術学会